

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 柔道整復師学科                  |                                     | 科 目 区 分 | 専門分野                           | 授業の方法               | 講義            |
|---|--------------------------|-------------------------------------|---------|--------------------------------|---------------------|---------------|
| 科 目 名   | 臨床柔道整復学・臨床的判定            |                                     | 必修/選択の別 | 必修                             | 授業時数(単位数)           | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 3年生                      |                                     | 学期及び曜時限 | 後期                             | 教室名                 | 203教室         |
| 担 当 教 員   | 川村智広・仲村剛<br>岩村一成・林了大・澤卓実 | 実務経験と<br>その関連資格                     |         |                                |                     |               |
| 《授業科目における学習内容》  |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 柔道整復術の臨床的に遭遇する主要な疾患の理解を深め、適応疾患に対しての臨床的な判定を学ぶ。また、医用画像の読影方法を修得する。 |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 《成績評価の方法と基準》  |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 1. 定期試験：100%  |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》   |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)<br>適宜資料の配布を行う                            |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 《授業外における学習方法》   |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する  |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 《履修に当たっての留意点》   |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 疑問点は質問し、日々の反復復習をしっかりと行ってください。                                   |                          |                                     |         |                                |                     |               |
| 授業の方法   | 内 容                      |                                     |         | 使用教材                           | 授業以外での準備学習の具体的な内容   |               |
| 第1回   | 授業を通じての到達目標              | 柔道整復師の適否について理解する                    |         | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |               |
|   | 各コマにおける授業予定              | 柔道整復師の適否と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)  |         |                                |                     |               |
| 第2回   | 授業を通じての到達目標              | 損傷に類似した症状を示す疾患について理解する(1)           |         | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |               |
|   | 各コマにおける授業予定              | 鑑別疾患と整形外科における診断①(診断・評価・治療・指導管理)     |         |                                |                     |               |
| 第3回   | 授業を通じての到達目標              | 損傷に類似した症状を示す疾患について理解する(2)           |         | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |               |
|   | 各コマにおける授業予定              | 鑑別疾患と整形外科における診断②(診断・評価・治療・指導管理)     |         |                                |                     |               |
| 第4回   | 授業を通じての到達目標              | 血流障害および末梢神経損傷を伴う損傷について理解する(1)       |         | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |               |
|   | 各コマにおける授業予定              | 血流障害および神経損傷と整形外科に診断①(診断・評価・治療・指導管理) |         |                                |                     |               |
| 第5回   | 授業を通じての到達目標              | 血流障害および末梢神経損傷を伴う損傷について理解する(2)       |         | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |               |
|   | 各コマにおける授業予定              | 血流障害および神経損傷と整形外科に診断②(診断・評価・治療・指導管理) |         |                                |                     |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |   | 使用教材                           | 授業以外での準備学習の具体的な内容   |
|-------|------|-------------|---|--------------------------------|---------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脱臼骨折について理解する  | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 脱臼骨折と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)                      |                                |                     |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 外出血を伴う損傷について理解する                                    | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 外出血と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)                       |                                |                     |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 病的骨折および脱臼について理解する                                   | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 病的骨折および脱臼と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)                 |                                |                     |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 意識障害を伴う損傷について理解する                                   | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 意識障害を伴う損傷と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)                 |                                |                     |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊髄症状のある損傷について理解する                                   | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 脊髄症状のある損傷と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)                 |                                |                     |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸運動障害を伴う損傷について理解する                                 | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 呼吸運動障害を伴う損傷と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理)               |                                |                     |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 高エネルギー外傷および内臓損傷の合併が疑われる損傷について理解する                   | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 高エネルギー外傷および内臓損傷の合併が疑われる損傷と整形外科における診断(診断・評価・治療・指導管理) |                                |                     |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医用画像について理解する(1)                                     | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 医用画像と整形外科における診断①(診断・評価・治療・指導管理)                     |                                |                     |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医用画像について理解する(2)                                     | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 医用画像と整形外科における診断②(診断・評価・治療・指導管理)                     |                                |                     |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医用画像について理解する(3)                                     | 配布プリント<br>柔道整復学・理論<br>柔道整復学・実技 | 事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 医用画像と整形外科における診断③(診断・評価・治療・指導管理)                     |                                |                     |